

ご参考

ゴビマット(標準型遮水型)施工歩掛[試算例]

『国土交通省土木工事積算基準 令和5年度版』準拠		
前提条件	1日当たり施工面積	286 m ² 小口止工、法留工等のコンクリート構造物との端部止水処理あり
	製品サイズ	5.5mを超え、6.5m以下
	法面及び基礎	基礎工及び法面仕上げ工は含まない。
	法勾配	1:2.0以上 1:3.0未満
	アンカーピン	異形鉄筋 D16×600×200×600

項目	名称	単位	数量	単価	金額	備考
材料費	ゴビマット(標準型遮水型)	m ²	286			140Kg/m ²
	アンカーピン	本	143			0.5本/m ²
	止水材、接着剤	式	1			ゴビマット材料費の5%
	小計					円/m ²
工事費	土木一般世話役	人	1			公共工事 設計労務単価
	普通作業員	人	5			公共工事 設計労務単価
	ラフテレーンクレーン	日	1			25t吊 オペレータ付
	諸雑費	式	1			労務費合計金額の19%
小計					円/m ²	
合計						円/m ²

※諸雑費は、ワイヤーロープ、吊金具、工具、端部止水材の敷設等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上。

「国土交通省土木工事積算基準 令和5年度」

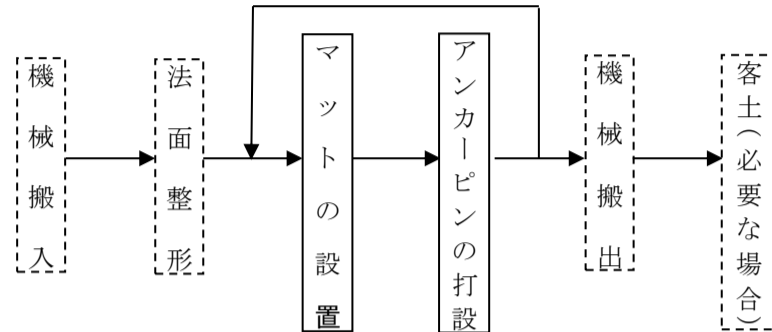
⑧ ブロックマット工

1. 適用範囲

本資料は、法勾配1:1.5～1:3.0で、マット長さ2.0～8.0mのブロックマット工に適用する。
また、ブロックマットの幅、種類によらず適用出来る。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図2-1 施工フロー

3. 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

機械名	規格	単位	数量		摘要
			最大法長 5.5m以下	最大法長 5.5mを超え、 18m以下	
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)2.9t吊	台	1	—	
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	〃	—	1	

(注) 1. バックホウ及びラフテレーンクレーンは賃料とする。
2. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
3. 最大法長とは、1施工現場において最大となる施工法面の長さである。

4. 施工歩掛

4-1 日当り編成人員

日当り編成人員は、次表を標準とする。

表4.1 日当り編成人員 (人)

土木一般世話役	普通作業員
1	5(3)

(注) 最大法長5.5m以下でバックホウ施工の場合は、()書きを適用する。

4-2 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表4.2 日当り施工量 (m²/日)

適用マット長さ(m)	日当り施工量
2.0m以上 2.5m以下	231(174)
2.5mを超え、3.5m以下	245(187)
3.5mを超え、4.5m以下	259(201)
4.5mを超え、5.5m以下	273(214)
5.5mを超え、6.5m以下	286
6.5mを超え、7.5m以下	300
7.5mを超え、8.0m以下	314

(注) 1. 日当り施工量には、マットの設置、アンカーピンの打設を含む。
2. 最大法長5.5m以下でバックホウ施工の場合は、()書きを適用する。

4-3 アンカーピン使用量

アンカーピンの使用量は、次表を標準とする。

表4.3 アンカーピン使用量 (本/100㎡)

法面勾配	数 量
1:1.5以上 1:1.8未満	70
1:1.8以上 1:2.0未満	60
1:2.0以上 1:3.0未満	50
1:3.0	30

4-4 諸雑費

諸雑費は、ワイヤーロープ、吊金具、工具等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4.4 諸雑费率 (%)

ブロックマット工	6 (8)
----------	-------

(注) 最大法長5.5m以下でバックホウ施工の場合は、()書きを適用する。

5. 単価表

(1) ブロックマット工(最大法長5.5m以下) 100㎡当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1, 表4.2
普通作業員		〃	3×100/D	〃
ブロックマット		㎡	100	
アンカーピン		本		表4.3
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	日	1×100/D	表4.2 機械賃料
諸 雑 費		式	1	表4.4
計				

(注) D: 日当り施工量(㎡/日)

(2) ブロックマット工(最大法長5.5mを超え、18m以下) 100㎡当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1, 表4.2
普通作業員		〃	5×100/D	〃
ブロックマット		㎡	100	
アンカーピン		本		表4.3
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1×100/D	表4.2 機械賃料
諸 雑 費		式	1	表4.4
計				

(注) D: 日当り施工量(㎡/日)

(3) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)2.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→77 賃料数量→1.18